

株式会社JRC

(東証グロース:6224)

# 2026年2月期通期決算概要・ 2027年2月期連結業績予想

2026年4月

## <ご注意>

本資料中の業績予想ならびに将来予想は、現在入手可能な情報に基づき、当社の判断により一定の前提の下に作成されており、リスクや不確定要素等の要因が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、これら会社の将来情報と実際の業績とは大きく乖離する可能性があります。



JAPAN  
ROLLER  
CORPORATION

# エグゼクティブサマリー

## 26年2月期 通期実績

- ・売上高13,746百万円(前期比+24.2%)、営業利益1,964百万円(同+42.8%)と大幅な増収増益を達成
- ・5期連続の増収増益となり、力強い収益成長を継続
- ・主力コンベヤ事業およびM&Aの寄与により、収益基盤が着実に拡大
- ・株主還元として、前期比+7円(年間)の増配を実施予定

## 27年2月期 業績予想

- ・売上高は15,099百万円(前期比+9.8%)と成長を継続
- ・ベトナム製造拠点の新設、M&A、人的資本投資などの成長投資を本格化
- ・成長投資を優先する中でも、営業利益は前期水準を確保
- ・当期も増配となる年間配当34円(普通配当30円+創業65周年記念配当4円)を予定

## 中期経営計画 (26.2期~28.2期) 進捗

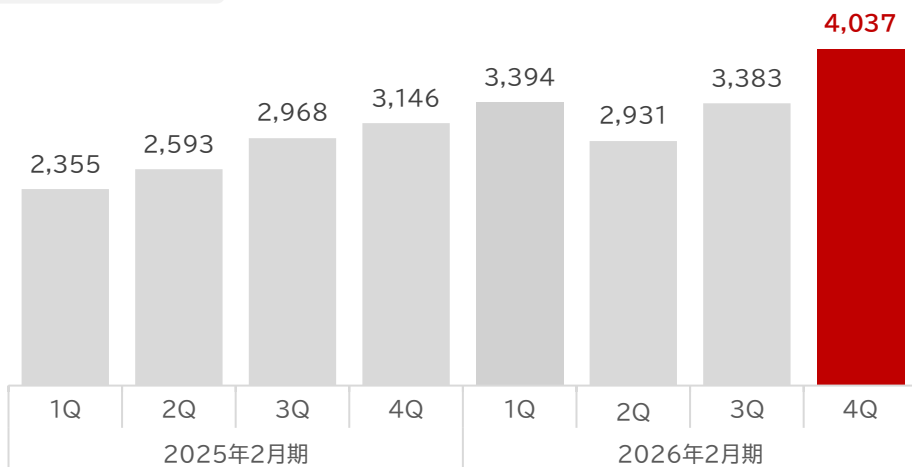
- ・初年度である2026年2月期は、売上高、営業利益ともに計画を上回り順調に進捗
- ・2027年2月期は、最終年度の達成に向けた基盤構築の年と位置付け
- ・カンパニー制により意思決定および収益責任を明確化し、成長戦略を加速
- ・中計最終年度の目標必達に向けて、成長投資と各施策を着実に実行し、次期以降の収益拡大につなげる

# 2026年2月期 通期決算概要

# 2026年2月期 通期決算概要 連結業績ハイライト

## 売上高

(単位:百万円)



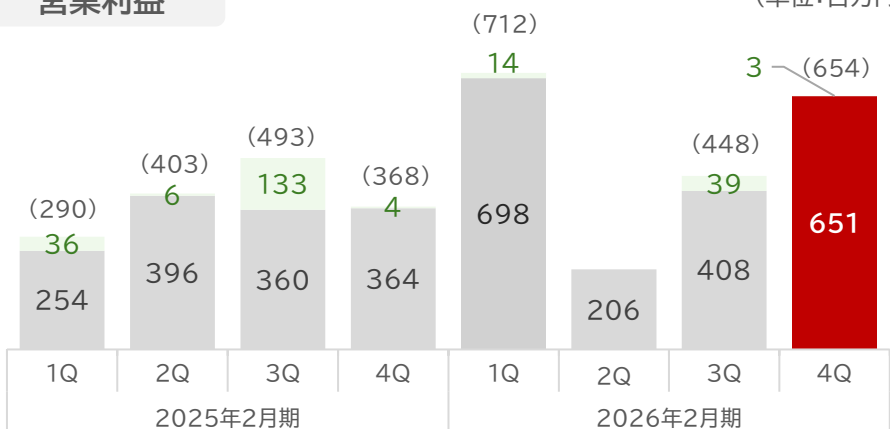
## 売上高

**13,746百万円**

事業計画(期初)	達成率
13,663百万円	100.6%
事業計画(修正後)	達成率
<b>13,450百万円</b>	<b>102.2%</b>
前期比(増減)	
<b>+24.2% (+2,682百万円)</b>	

## 営業利益

(単位:百万円)



## 営業利益

**1,964百万円**

事業計画(期初)	達成率
1,728百万円	113.6%
事業計画(修正後)	達成率
<b>1,830百万円</b>	<b>107.3%</b>
前期比(増減)	
<b>+42.8% (+588百万円)</b>	

M&A費用を除く営業利益

**2,019百万円**

**+29.7% (+462百万円)**

- ・ 堅調なコンベヤ事業が業績を力強く牽引
- ・ 環境プラント事業は端境期となる
- ・ ロボットSI事業は過去3年のCAGRが38.1%と高成長

▶ **5期連続の増収増益**  
**3期連続の増配予定**

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2025年2月期					2026年2月期					累計前期比	計画比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
売上高	2,355	2,593	2,968	3,146	11,064	3,394	2,931	3,383	4,037	13,746	+24.2%	102.2%
売上総利益	829	957	1,126	1,085	3,999	1,401	894	1,144	1,438	4,879	+22.0%	102.5%
売上総利益率	35.2%	36.9%	38.0%	34.5%	36.1%	41.3%	30.5%	33.8%	35.6%	35.5%	△0.7Pt	—
営業利益	254	396	360	364	1,375	698	206	408	651	1,964	+42.8%	107.3%
営業利益率	10.8%	15.3%	12.1%	11.6%	12.4%	20.6%	7.0%	12.1%	16.1%	14.3%	+1.9Pt	—
経常利益	258	407	365	373	1,404	670	198	394	641	1,904	+35.6%	104.9%
当期純利益	245	278	221	332	1,078	516	112	270	523	1,423	+31.9%	116.6%
E B I T D A	311	457	424	455	1,647	802	310	513	775	2,404	+45.9%	108.6%
調整後 E B I T D A※	347	464	557	459	1,829	816	310	553	779	2,461	+34.6%	111.1%

※調整後EBITDA=EBITDA+M&amp;A費用

## セグメント業績

(単位:百万円)

	2025年2月期					2026年2月期					累計前期比	計画比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
売上高	2,355	2,593	2,968	3,146	11,064	3,394	2,931	3,383	4,037	13,746	+24.2%	102.2%
コンベヤ事業	1,950	1,985	1,947	2,089	7,972	2,565	2,097	2,392	3,160	10,216	+28.1%	102.4%
環境プラント事業	405	544	569	633	2,152	494	535	531	622	2,184	+1.5%	99.7%
ロボットSI事業	33	76	462	427	999	366	309	473	269	1,419	+42.0%	98.2%
調整額	△32	△12	△10	△4	△60	△31	△11	△14	△15	△73	△12	△27
営業利益	254	396	360	364	1,375	698	206	408	651	1,964	+42.8%	107.3%
(率)	10.8%	15.3%	12.1%	11.6%	12.4%	20.6%	7.0%	12.1%	16.1%	14.3%	+1.9Pt	—
コンベヤ事業	417	441	379	459	1,697	816	384	541	834	2,577	+51.8%	108.3%
(率)	21.4%	22.2%	19.5%	22.0%	21.3%	31.8%	18.3%	22.6%	26.4%	25.2%	+3.9Pt	—
環境プラント事業	98	171	125	56	451	73	35	29	58	195	△56.6%	72.8%
(率)	24.3%	31.5%	22.1%	8.9%	21.0%	14.8%	6.6%	5.5%	9.4%	9.0%	△12.0Pt	—
ロボットSI事業	△41	△52	78	40	25	43	△1	39	△3	78	+206.7%	83.6%
(率)	—	—	17.0%	9.6%	2.6%	11.9%	—	8.3%	—	5.5%	+2.9pt	—
調整額	△219	△163	△223	△192	△799	△235	△212	△201	△238	△887	△88	△25

## KPI実績

(単位:百万円)

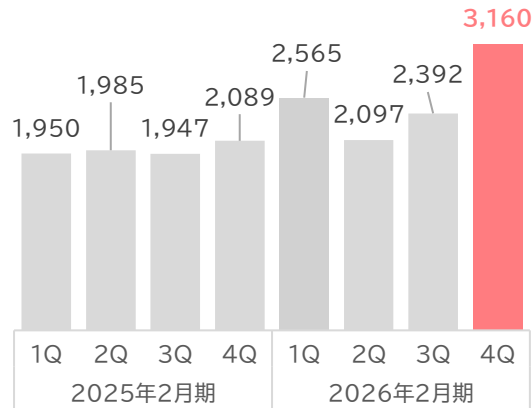
		2025年2月期					2026年2月期					計画	達成率
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期		
全社	売上高	2,355	2,593	2,968	3,146	11,064	3,394	2,931	3,383	4,037	13,746	13,450	102.2%
	営業利益	254	396	360	364	1,375	698	206	408	651	1,964	1,830	107.3%
	営業利益率	10.8%	15.3%	12.1%	11.6%	12.4%	20.6%	7.0%	12.1%	16.1%	14.3%	13.6%	—
	ROE	—	—	—	—	25.7%	—	—	—	—	27.2%	22.8%	—
コンバヤ業	ソリューション売上高	456	326	350	368	1,503	479	424	440	498	1,842	1,691	108.9%
	ソリューション売上高比率※	24.0%	16.9%	18.4%	20.6%	20.0%	27.4%	24.9%	22.5%	24.4%	24.7%	22.6%	—
環境プラント業	受注高	897	471	305	709	2,384	880	303	683	426	2,293	3,100	74.0%
	セグメント利益	98	171	125	56	451	73	35	29	58	195	269	72.8%
ロボットSI業	受注高	237	212	448	304	987	182	364	527	171	1,246	1,600	77.9%
	セグメント利益	△41	△52	78	40	25	43	△1	39	△3	78	94	83.6%

※ ソリューション売上高比率=国内ソリューション売上高÷国内売上高

# コンベヤ事業 通期業績ハイライト

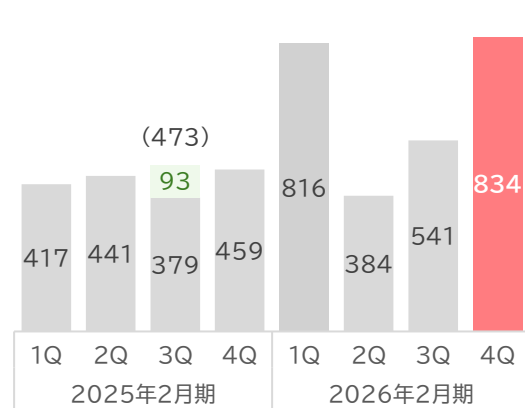
## 売上高

(単位:百万円)



## セグメント利益

(単位:百万円)



## 売上高

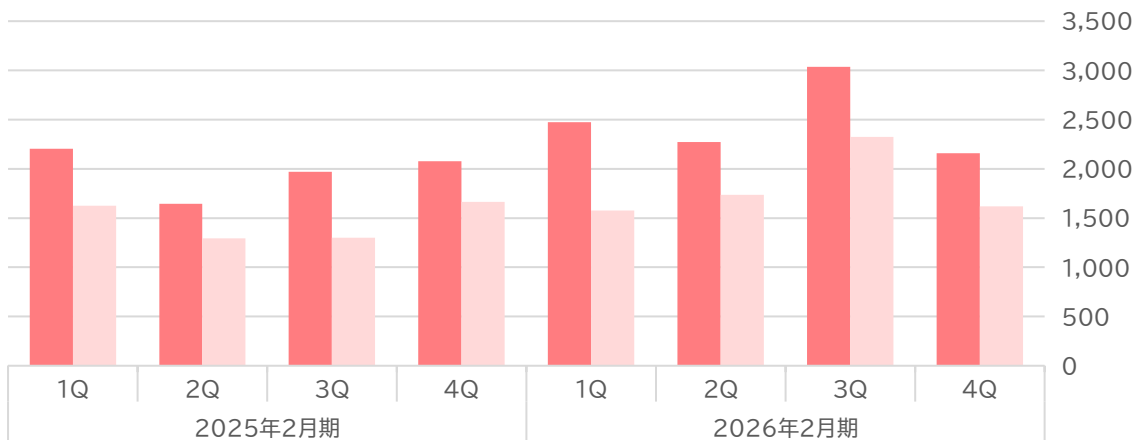
**10,216**百万円

事業計画(期初)	達成率
9,460百万円	108.0%
事業計画(修正後)	達成率
<b>9,977</b> 百万円	<b>102.4%</b>
前期比(増減)	
<b>+28.1%</b> (+2,243百万円)	

## 受注状況

■受注高 ■受注残高

(単位:百万円)



## 営業利益

**2,577**百万円

事業計画(期初)	達成率
2,115百万円	121.8%
事業計画(修正後)	達成率
<b>2,379</b> 百万円	<b>108.3%</b>
前期比(増減)	
<b>+51.8%</b> (+879百万円)	

M&A費用を  
除く営業利益

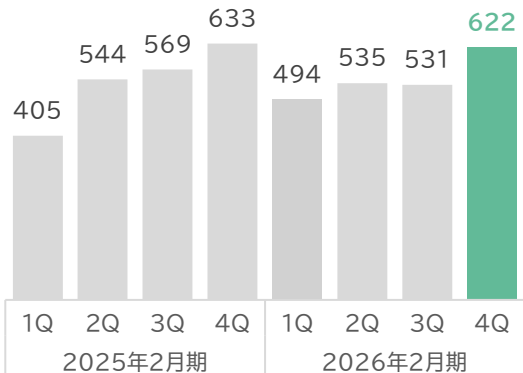
—

- ・ ソリューションおよびリプレイス需要が堅調に推移。
- ・ 高橋汽罐工業を中心としたメンテナンス事業が業績に大きく貢献
- ・ 営業利益は前年同期比51.8%増加

# 環境プラント事業 通期業績ハイライト

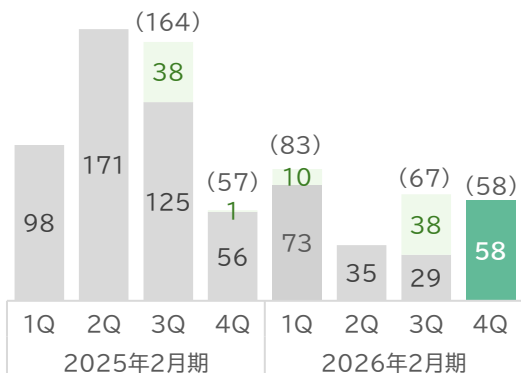
## 売上高

(単位:百万円)



## セグメント利益

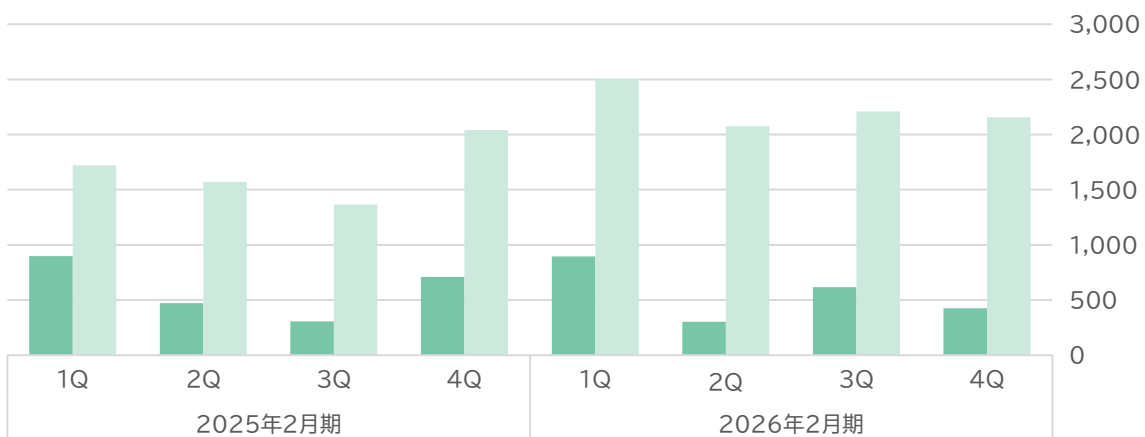
(単位:百万円)



## 受注状況

■受注高 ■受注残高

(単位:百万円)



## 売上高

2,184百万円

事業計画(期初)	2,645百万円	達成率 82.6%
事業計画(修正後)	2,190百万円	達成率 99.7%
前期比(増減)	+1.5% (+31百万円)	

## 営業利益

195百万円

事業計画(期初)	452百万円	達成率 43.3%
事業計画(修正後)	269百万円	達成率 72.8%
前期比(増減)	△56.6% (△255百万円)	

M&A費用を除く営業利益

245百万円

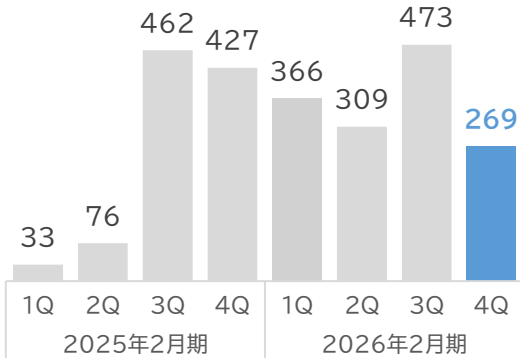
△50.0% (△245百万円)

ごみ処理施設向け基幹改良工事が端境期となり、当期は低調も、期末受注残高は20億円超を維持し、今後の成長を下支え

# ロボットSI事業 通期業績ハイライト

## 売上高

(単位:百万円)



## セグメント利益

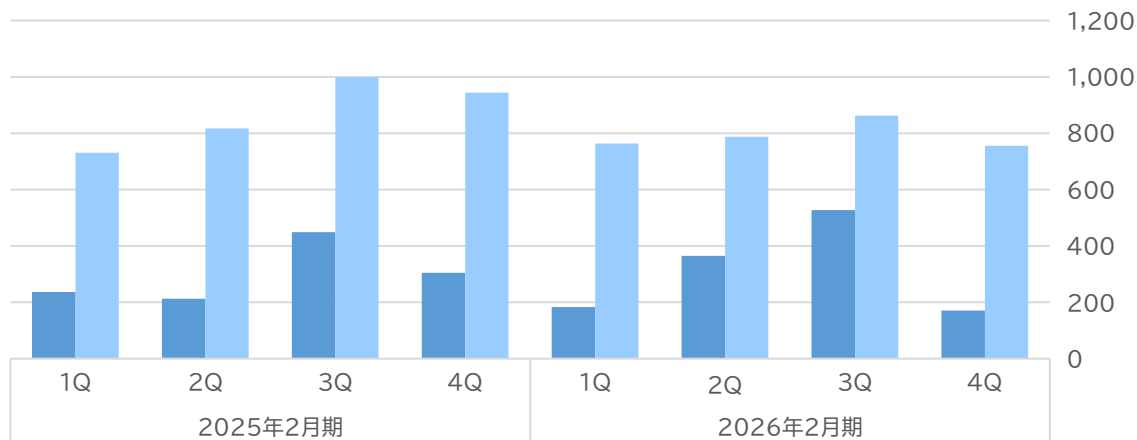
(単位:百万円)



## 受注状況

■受注高 ■受注残高

(単位:百万円)



## 売上高

1,419百万円

事業計画(期初)	達成率
1,621百万円	87.6%
事業計画(修正後)	達成率
1,446百万円	98.2%
前期比(増減)	
+42.0%	(+420百万円)

## 営業利益

78百万円

事業計画(期初)	達成率
73百万円	106.3%
事業計画(修正後)	達成率
94百万円	83.6%
前期比(増減)	
+206.7%	(+52百万円)

M&A費用を除く営業利益

—

案件の大型化に伴う期ずれにより、売上高・営業利益ともに計画未達となったものの、複合ライン提案による受注単価の上昇とコストコントロールの徹底により、営業利益は前期比206.7%増

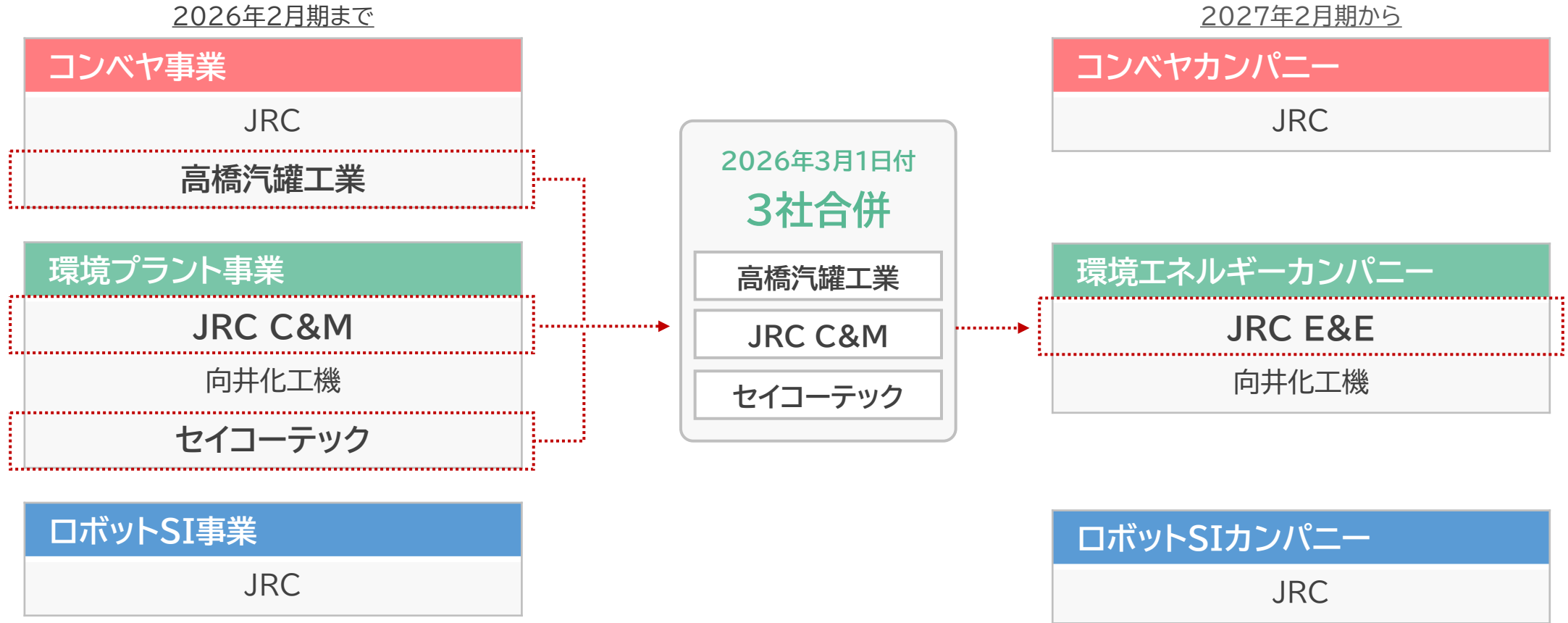
# 連結貸借対照表

(単位:百万円)	資 産	2025年2月末	2026年2月末	増減額	備 考
	流動資産	7,455	8,076	+620	主な要因:売掛金の増加
	うち、現金及び預金	2,431	2,585	+154	
	固定資産	5,646	5,234	△412	
	有形固定資産	3,547	3,592	+45	
	無形固定資産	798	860	+61	うち、のれん521百万円
	投資その他資産	1,300	781	△519	主な要因:保険積立金の解約
	資産合計	13,101	13,310	+208	
	負 債				
	流動負債	5,657	3,773	△1,884	
	うち、1年内返済予定の長期借入金	472	785	+312	
	うち、短期借入金	1,800	250	△1,550	主な要因:短期から長期への借り換えによる長期借入金の増加
	固定負債	2,829	3,698	+868	
	うち、長期借入金	2,356	3,350	+993	
	負債合計	8,487	7,471	△1,016	
	純資産				
	純資産合計	4,614	5,838	+1,224	主な要因:当期純利益の計上による利益剰余金の増加
	自己資本比率	35.2%	43.9%	+8.6pt	
	Net Debt/EBITDA	1.33x	0.75x	△5.8pt	今後の成長投資に向けた借入余力を十分に確保
	流動比率	131.8%	214.1%	+82.2pt	

# 2027年2月期 連結業績予想

# セグメント区分における組織再編について

## カンパニー制への移行および連結子会社3社合併に伴う組織再編の概要



※2027年2月期の業績予想および比較情報は、新セグメント区分に基づき過年度数値を組み替えて表示しています。

## 2027年2月期連結業績の見通し

(単位:百万円)

	2025年 2月期実績	2026年 2月期実績	2027年2月期			前期比	
			上期	下期	通期予想	増減額	増減率
売上高	11,064	13,746	7,185	7,914	15,099	+1,353	+9.8%
売上総利益	3,999	4,879	2,565	2,740	5,305	+426	+8.7%
売上総利益率	36.1%	35.5%	35.4%	34.3%	35.1%	△0.4pt	—
営業利益	1,375	1,964	877	1,088	1,965	+1	+0.1%
営業利益率	12.5%	14.4%	12.5%	14.1%	13.0%	△1.4pt	—
経常利益	1,404	1,904	856	1,058	1,914	+10	+0.5%
当期純利益	1,078	1,423	583	667	1,251	△172	△12.0%
E B I T D A	1,647	2,404	—	—	2,463	+59	+2.5%

## 2027年2月期カンパニー別業績の見通し

(単位:百万円)

	2025年 2月期実績 (組換後)	2026年 2月期実績		2027年2月期			前期比	
		組換前	組換後	上期	下期	通期予想	増減額	増減率
売上高	11,064	13,746	13,746	7,185	7,914	15,099	+1,353	+9.8%
コンベヤ	7,720	10,216	7,946	4,080	4,229	8,309	+363	+4.1%
環境エネルギー	2,407	2,184	4,517	2,251	2,880	5,131	+614	+11.5%
ロボットSI	997	1,419	1,419	916	870	1,787	+368	+25.9%
連結調整	△60	△73	△136	△62	△65	△128	△8	—
営業利益	1,375	1,964	1,964	877	1,088	1,965	+1	±0
コンベヤ	1,807	2,577	1,967	925	866	1,792	△175	△8.9%
環境エネルギー	343	195	766	346	658	1,004	+238	+31.1%
ロボットSI	25	78	78	99	47	146	+68	+87.2%
全社費用	△800	△887	△847	△494	△483	△978	△131	—

※グラフ内の表記は、各カンパニー名を省略して表記しています。 ※カンパニー制への移行により、従来コンベヤに含めていた高橋汽罐工業は環境エネルギーへ組み替えております。

## KPI計画

(単位:百万円)

		2025年2月期	2026年2月期			2027年2月期
		実績	計画	実績	達成率	計画
全社	売上高	11,064	13,450	13,746	102.2%	15,099
	営業利益	1,375	1,830	1,964	107.4%	1,965
	営業利益率	12.4%	13.6%	14.3%	—	13.0%
	ROE	25.7%	22.8%	27.2%	—	20.1%
コンベヤ	ソリューション 売上高	1,503	1,691	1,842	108.9%	1,924
	ソリューション 売上高比率	20.0%	22.6%	24.7%	—	24.1%
環境エネルギー	受注高	2,674	4,600	4,308	93.7%	5,400
	営業利益	343	674	766	113.6%	1,004
ロボットSI	受注高	1,045	1,621	1,202	74.2%	2,000
	営業利益	25	94	78	83.6%	146

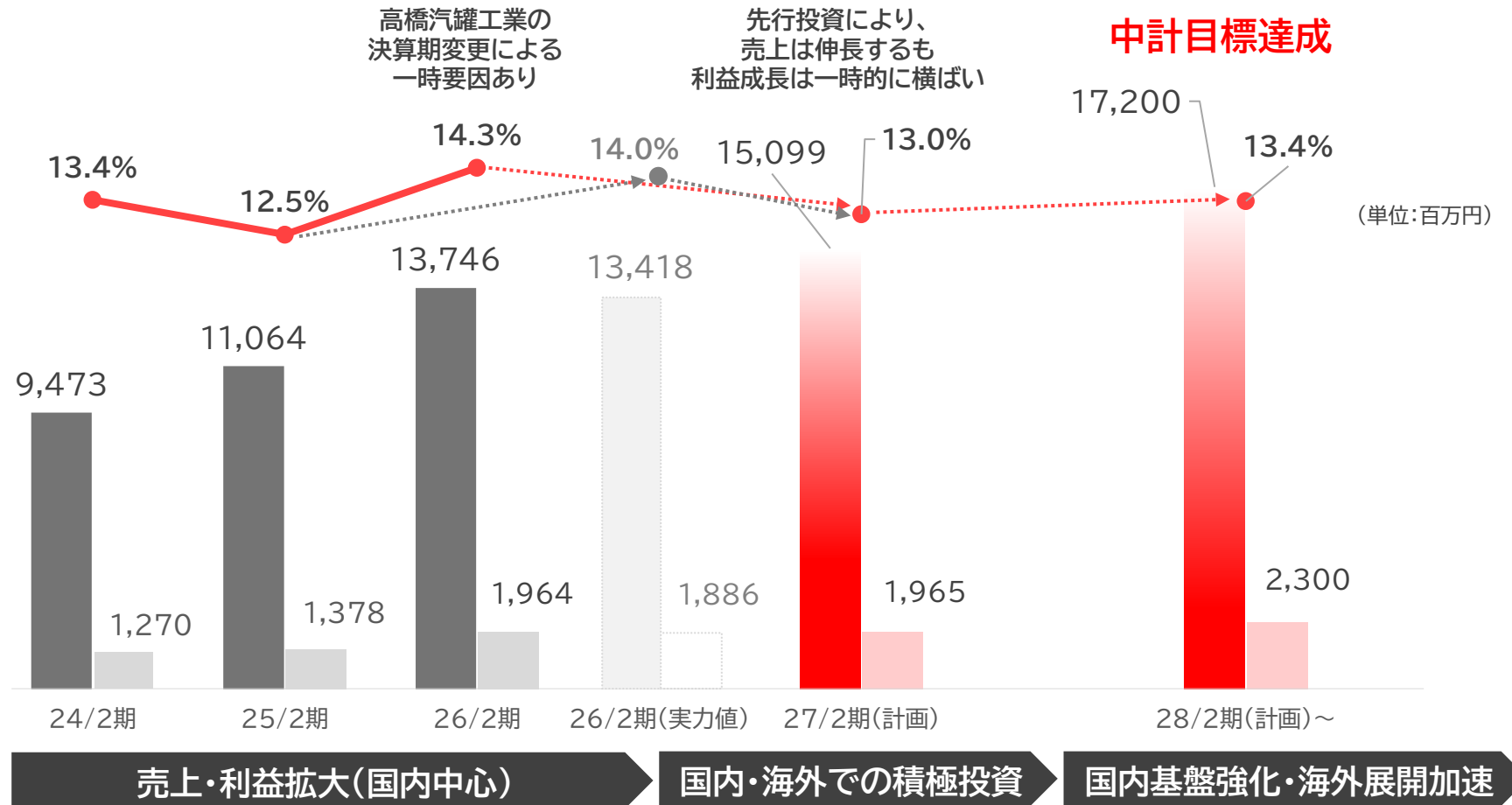
※グラフ内の表記は、各カンパニー名を省略して表記しています。 ※カンパニー制への移行により、従来コンベヤに含めていた高橋汽罐工業は環境エネルギーへ組み替えております。

# 2027年2月期の位置づけ

27/2期は、中計最終年度(28/2期)の達成とその先の成長に向けた投資を加速する準備期間

26/2期の  
上振れ要因を除けば、  
実力ベースでは、  
着実な増収増益基調

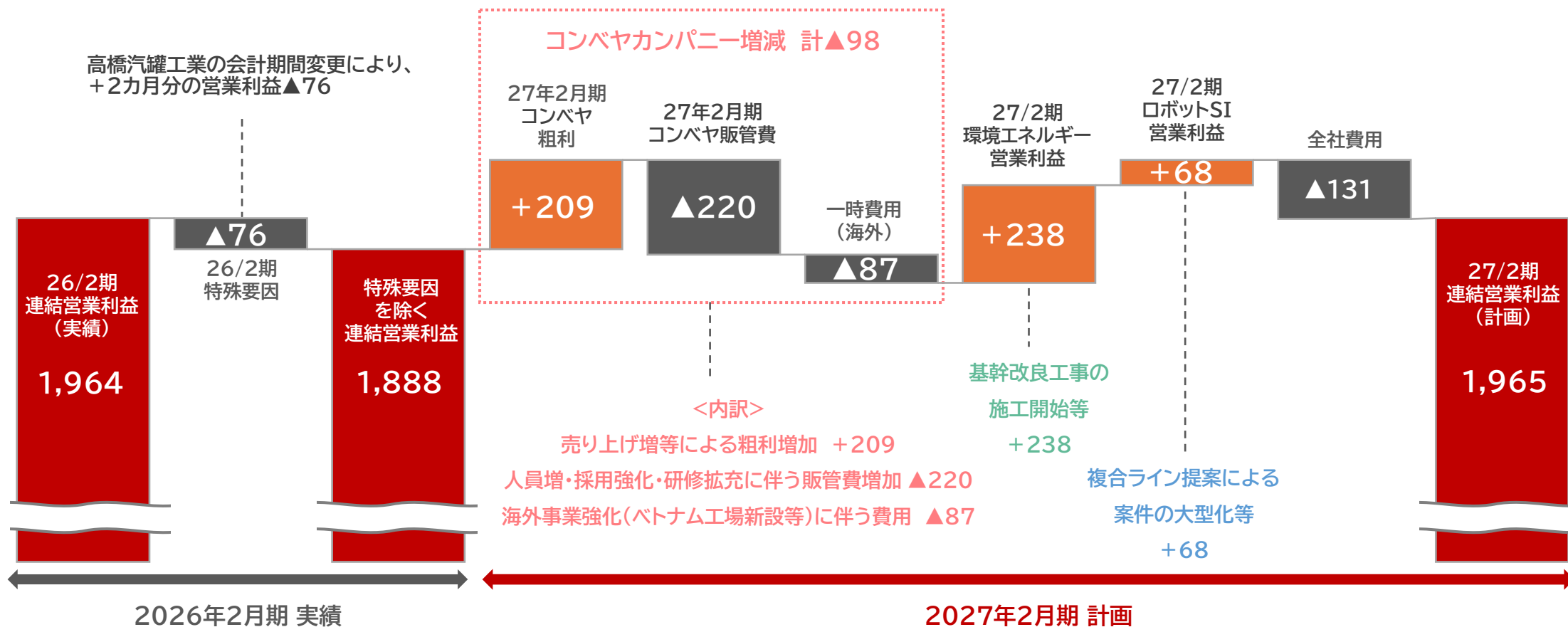
- 売上高(計画)
- 売上高(実績)
- 営業利益(計画)
- 営業利益(実績)
- 営業利益率



# 連結営業利益の増減要因

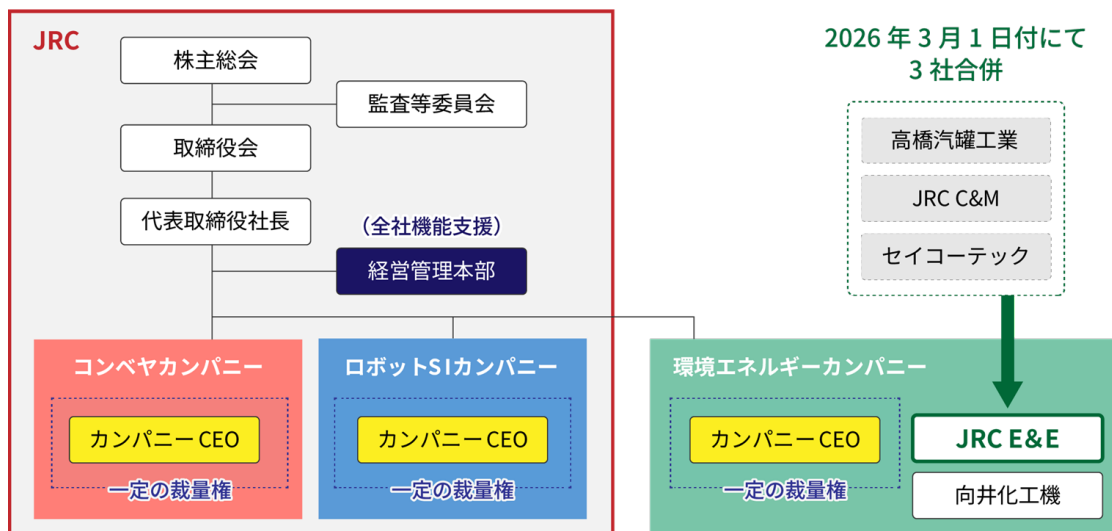
(単位:百万円)

+ M&A 今期の重要成長施策



# 2027年2月期 事業成長に向けた取り組み カンパニー制の導入について

## ■ カンパニー制導入に伴う新組織体制（2026年3月より）



- コンベヤカンパニー** 国内トップシェアの屋外用ベルトコンベヤ領域でグループ全体の成長を牽引
- 環境エネルギーカンパニー** 公共性の高い案件を通じてグループの事業領域を拡大
- ロボットSIカンパニー** 自動化・省人化のニーズ拡大を背景に、成長ドライバーとして中長期的な成長を牽引

積極的なM&Aによりグループ会社が増加し、各事業の収益構造や投資規模、成長スピードが大きく変化

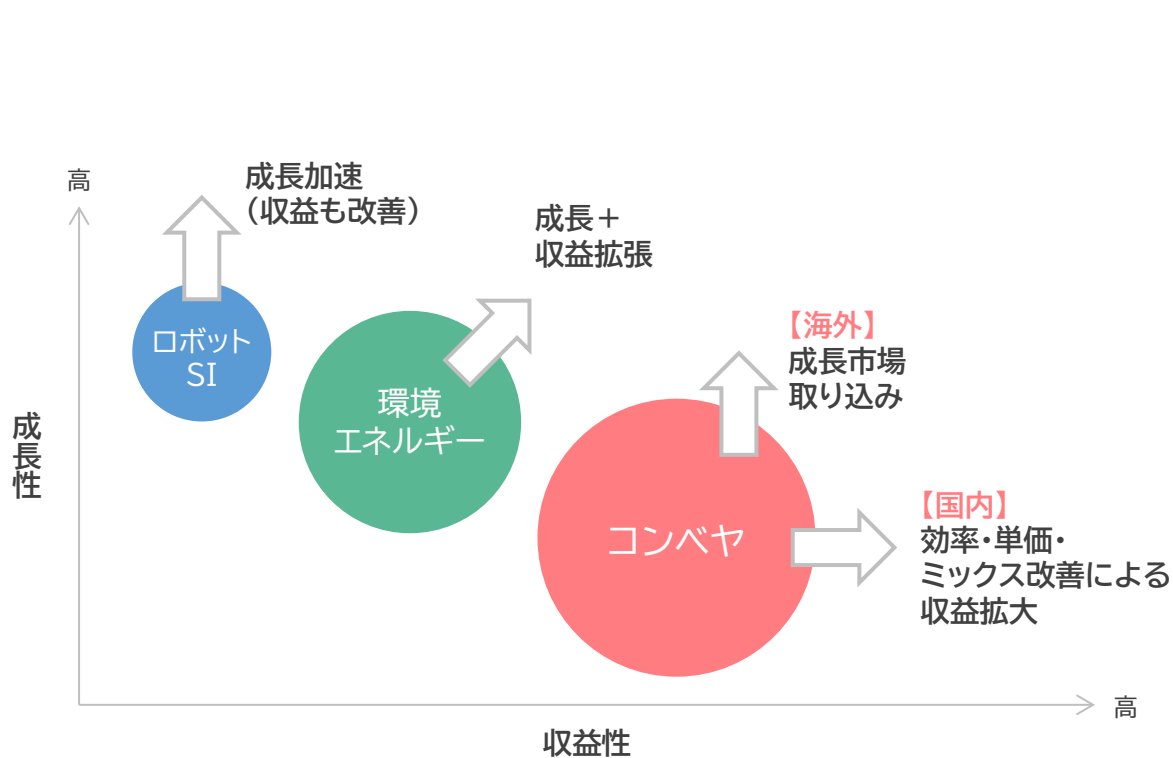
### さらなる経営体制の強化が急務

- ・ 各事業における責任の明確化と意思決定の迅速化
- ・ 自律性と機動性を兼ね備えた経営体制の確立
- ・ シナジー創出、収益力強化、経営効率化、次世代経営者育成

カンパニー制を導入し、当社グループ全体の成長をさらに加速させる

# 事業ポートフォリオと各カンパニーの位置づけ

高収益事業で創出したキャッシュを成長領域へ戦略的に再投資し、収益性と成長性を両立するポートフォリオを実現



## コンベヤカンパニー

高収益・高シェアを基盤としたキャッシュ創出・成長事業

- ・ 国内トップシェア・高リカーリング収益
- ・ ASEAN高成長市場の取り込みによる中長期的成長



## 環境エネルギーカンパニー

収益機会を拡大する戦略的成長領域

- ・ 環境・エネルギープラント領域の一体化
- ・ 高橋汽罐工業との統合による事業シナジー創出



## ロボットSIカンパニー

グループの中長期成長を牽引するドライバー

- ・ FA・自動化ニーズの拡大を背景に市場成長を取り込む
- ・ 標準化・組織体制強化による収益性改善

# グループ全社を支える安定収益基盤の強化と海外展開により成長を加速

## 安定収益基盤(持続的な収益力)の強化

単価・粗利UP

### ソリューション強化による高付加価値化

- パートナー代理店の育成・タイアップ強化(リプレイス売上UP)
- 機能製品(コンベヤトラブル解決型製品)の販売強化

安定・継続収益

### ストック・サービス収益の拡大

- 工事・メンテナンスの拡大 (直近6年間で売上高が約11倍)
- 遠隔監視・パイプコンベヤ・コンベヤ本体設計など領域拡大

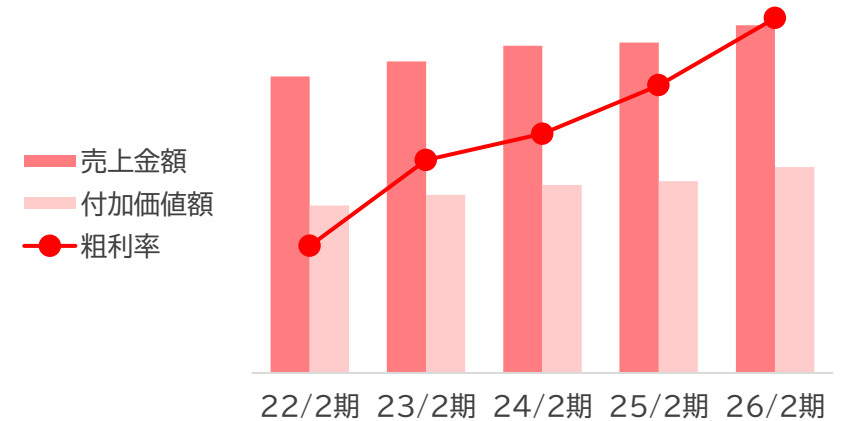
取り切る力の強化

### 営業基盤強化

- 代理店網の活用によるリピート需要の最大化
- 既存顧客深耕および競合シェアの奪還

## (参考)国内コンベヤ事業の収益力

売上高・付加価値額・粗利率の推移



収益力は継続的に向上

売上・付加価値の拡大とともに粗利率も持続的に改善

【国内】ソリューションによる高付加価値化とストック収益の拡大により収益基盤を強化

【海外】ASEAN展開(ベトナム製造拠点)を起点に中長期の成長機会を取り込む(次ページ)

# ベトナム製造拠点の新設～ASEAN成長市場への戦略参入～

「納期・コスト競争力」と「品質・サービス」との両立による差別化を図り、現地でのプレゼンスを強化

## ベトナム工場新設の戦略的意義

### 背景と参入意義

- 国内は安定成長もゆるやかに成熟化する市場
- ASEANはインフラ・エネルギー需要で拡大基調
- 海外売上拡大に向け供給体制構築が必要

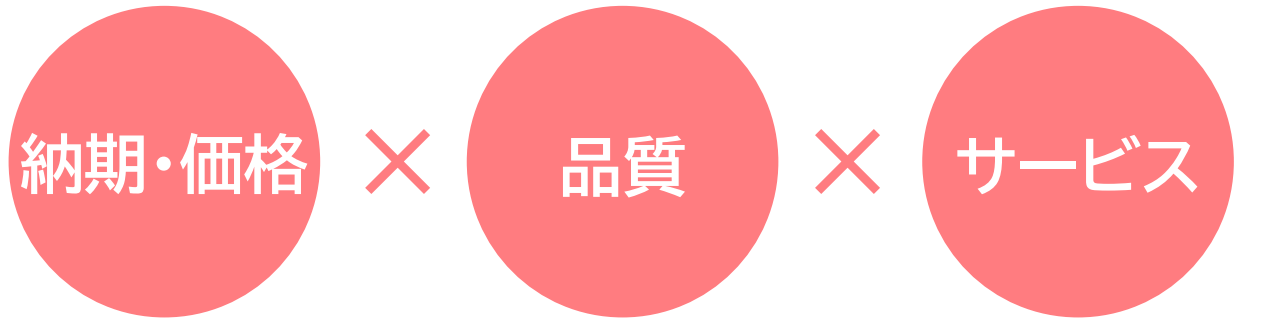
### 主なターゲットと展開戦略

- ベトナム北部(ハノイ周辺)の資源・発電関連顧客
- インドネシア・タイなど周辺国にも製品を供給

### 競合環境と勝算

- グローバル大手競合の生産拠点は不在
- 主流の中国輸入品は品質・納期・サービスに課題

## 【当社の強み】～ 現地生産 × 日本品質 ～



現地生産による「短納期」と  
中国製品への「コスト競争力」

日本で培った「技術・品質管理」  
(日本人駐在員による指導)

輸入品にはない  
きめ細やかな技術サポート

ASEAN市場において競争優位を確立し、  
海外収益基盤を構築

# ベトナム製造拠点の立上げと収益化イメージ

## 拠点・立地計画

ASEAN市場展開を見据えた戦略的製造拠点の確立



**所在地:** ベトナム北部(ハノイ近郊)

**区画:** 約4,000m<sup>2</sup>

- ・ 既存工業団地内のレンタル工場を活用
- ・ 小規模スタート → 段階的に生産能力拡張

**初期投資を抑えた  
小規模スタートでリスクを限定**

## マイルストーン・海外規格対応

	2026						2027	
	7	8	9	10	11	12	1	2
工場引渡し・内装工事	←→							
自動生産設備搬入		←→						
生産開始			←→					
本格生産・出荷開始						←→		

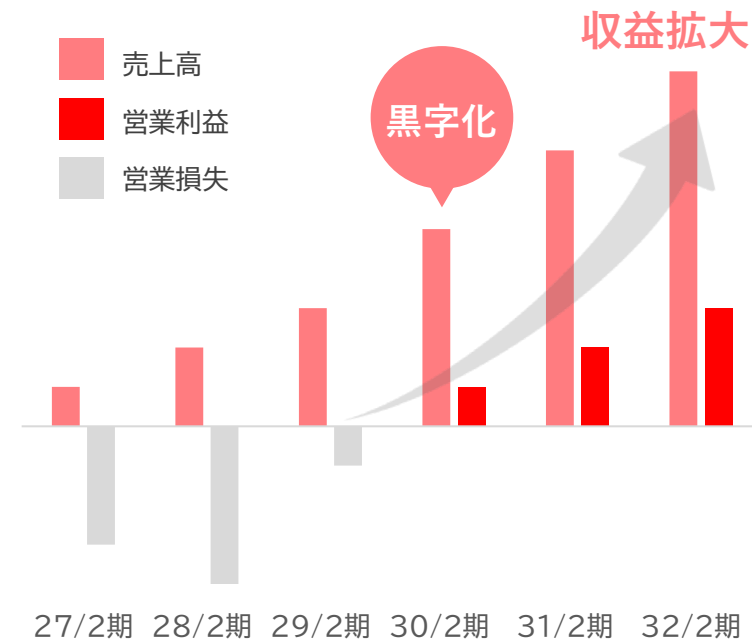
※情勢により時期は変動の可能性あり

**従来** 国内規格に限定された輸出が海外展開の制約

**今後** 海外規格に対応した製品供給が可能になり、現地市場への直接展開を加速

**海外市場での展開・競争力強化・  
売上機会の創出に大きく貢献**

## 収益化イメージ



**初期は費用先行も、  
3年後に黒字化し  
成長軌道への移行を見込む**

# 環境×エネルギーの一体化と領域拡張による収益機会の最大化

## 3社合併による基盤強化



## JRC E&E エンバロメント&エネルギー

- ・従業員数 **150名規模** のエンジニアリング会社に
- ・3社の拠点、顧客基盤・販売網、協力会社を統合

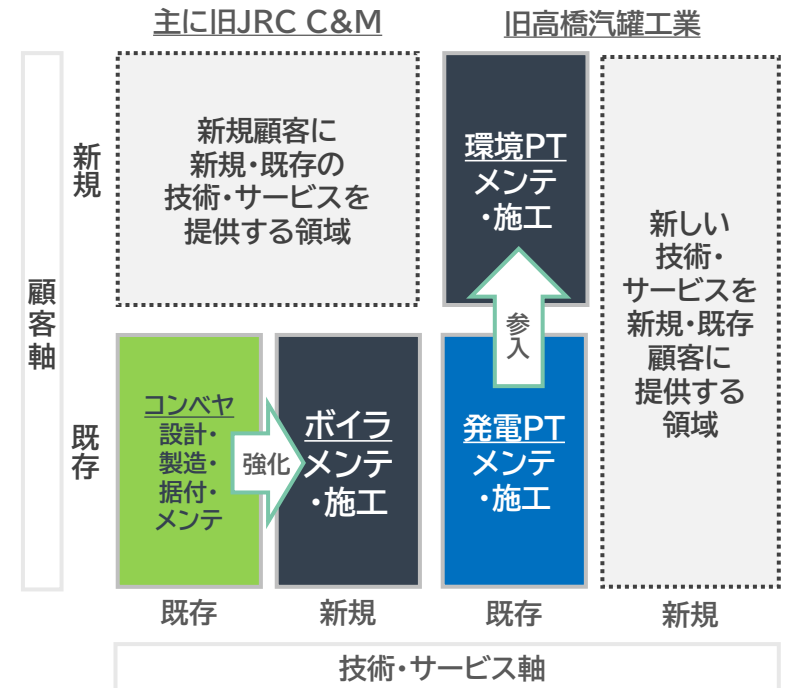
人員体制強化と基盤統合で  
受注機会と案件規模を拡大

## ワンストップ対応範囲の拡大



「一気通貫」かつ「高付加価値」な  
サービス提供が可能に

## 成長領域(顧客×技術)の拡張



既存顧客の深耕と  
新領域への展開により  
受注機会と案件規模を面で拡大

# 構造改革により収益性と再現性を高め、成長ドライバーへ転換

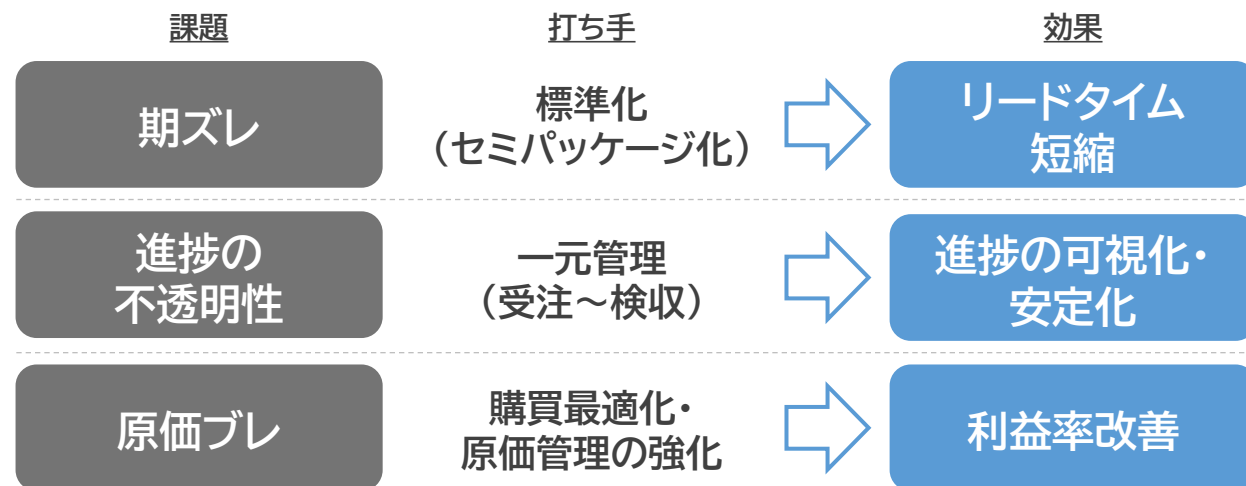
カンパニー制導入を契機に、標準化と一元管理を進め、収益の不安定構造を改善

## 当社の現状と課題認識

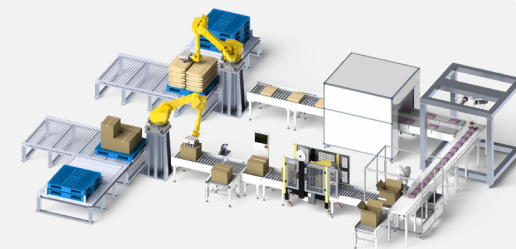
- 案件創出は拡大(見積件数・金額ともに増加)
- 複数のパイプラインとリピート基盤は形成  
一方で...
- 案件大型化により売上計上が不安定(期ズレ)
- 進捗の拠点別の管理により見通しが不透明
- 原価管理のばらつきにより利益が変動

個別最適から脱却し、  
いかに再現性を高めるか

## 収益の再現性向上に向けた構造改革



受注拡大フェーズから、  
「安定的に稼ぐ構造」へ



# M&Aによる成長機会の拡大と厳選投資の推進

## M&A市場は構造的に拡大

事業承継ニーズの高まり

事業売却(カーブアウト)案件の増加

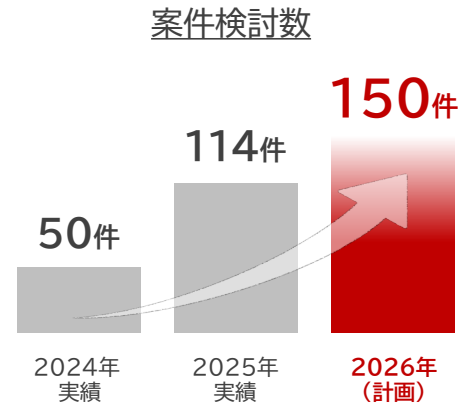
非公開化案件(MBO)の増加

【参考】日本企業のM&A件数(※)

- ・ 2026年1-3月:1,295件(過去最多)
- ・ 2026年3月単月:150件(過去最多)

※出所:レコフデータ「M&Aデータファイル」、M&A Online(適時開示ベース)

## 市場拡大×ソーシング体制強化により案件検討増加



- ・ 戦略投資部を中核としたソーシング体制を強化
- ・ 紹介ネットワークの拡充により案件流入が増加
- ・ 案件創出力の向上により、検討機会が拡大
- ・ 案件数の増加から、選別基準の高度化を推進

量の拡大を土台に、質を重視した選別投資へシフト  
当社グループの企業価値向上に資するM&Aを厳選

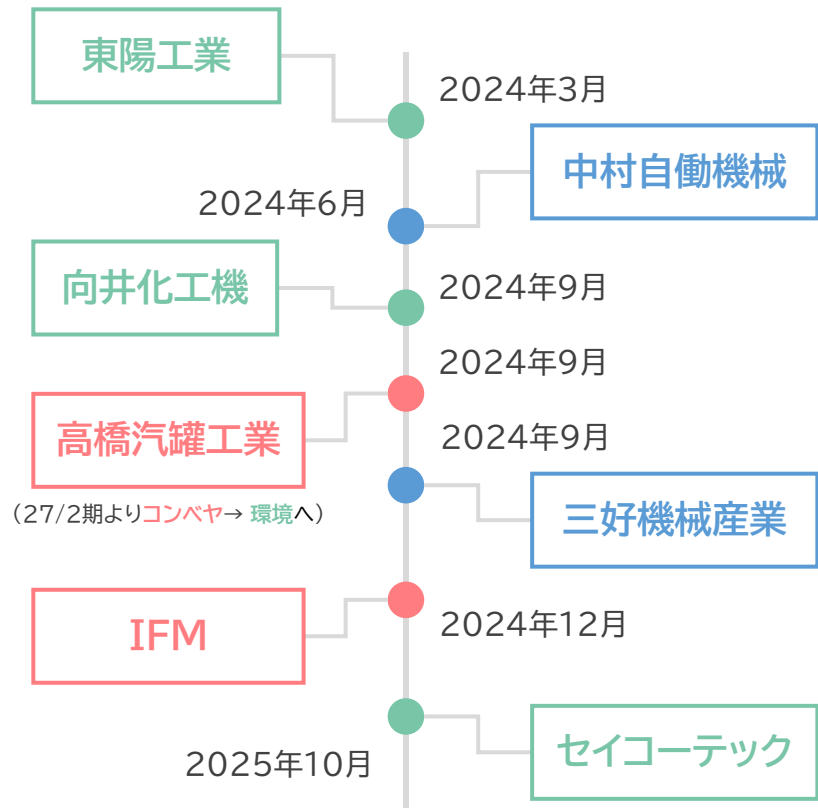
# 規律ある選別×PMIによる価値創出型M&Aで成長を加速



# 上場後のM&A実績(トラックレコードと効果)

取得企業の強みを活かすM&Aにより、個社成長とグループシナジーの両面で価値創出を推進

## 上場後のM&A実績(トラックレコード)



## 主なM&Aによる価値創出の実績

### ● 売上・利益の拡大

		買収前3か年平均(※)		2026年2月期実績	
高橋汽罐工業	売上高	約 14 億円	→	約 20 億円	約1.4倍に成長
	営業利益	約 2 億円	→	約 6 億円	約3倍に成長
向井化工機	売上高	約 6 億円	→	約 8 億円	約1.3倍に成長
	営業利益	約 1 億円	→	約 1 億円	利益水準維持

### ● 内製化によるコスト構造の改善

東陽工業 JRC C&Mと連携した内製化推進で、原価低減・収益性改善を実現

外注加工費(JRC C&M+東陽工業): 買収後の2年間で約15%削減

### ● 提案領域の拡張と付加価値向上

中村自働機械  
三好機械産業 複合ライン提案の強化により、受注機会創出と案件単価向上に貢献

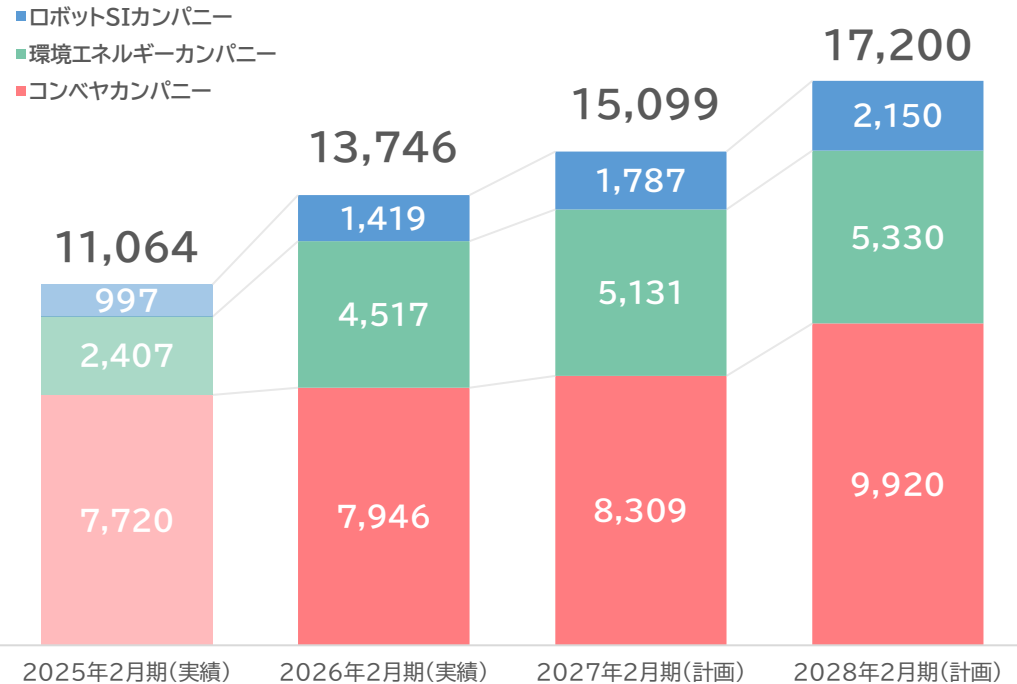
複合ライン(25/2期→26/2期): 売上高は約2.7倍、構成比も約2倍へ拡大

# 中期経営計画の進捗と見通し

## 売上高

(単位:百万円)

※調整額(全社費用等)を除く



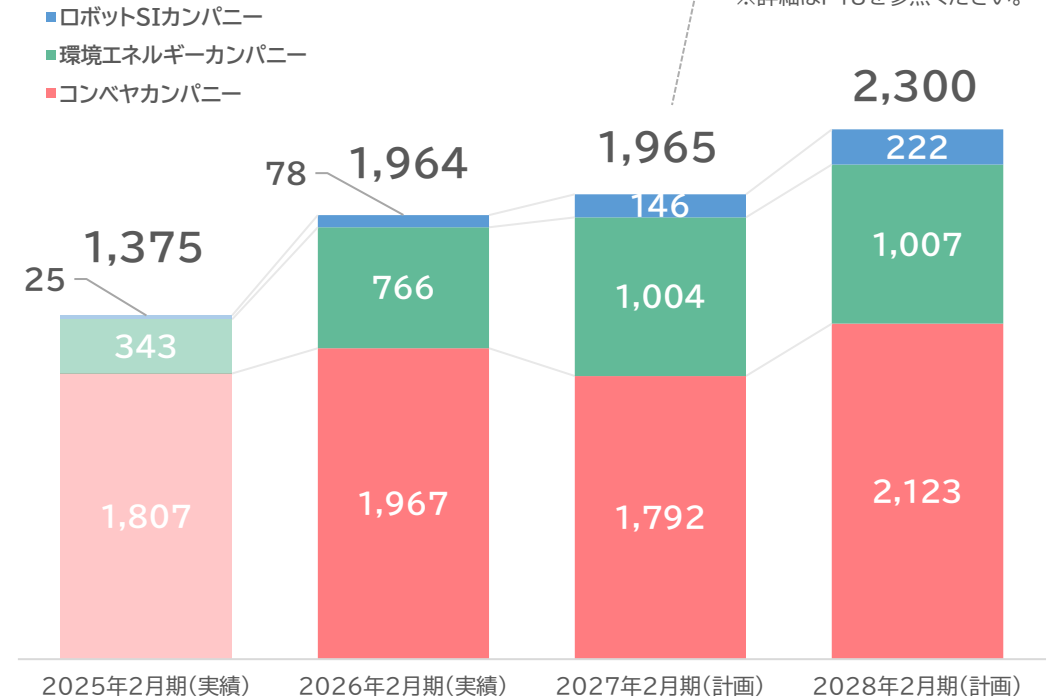
## 営業利益

(単位:百万円)

※調整額(全社費用等)を除く

27/2期の営業利益は、販管費の増加および一時費用を織り込みつつ、前期並みの水準を見込む。

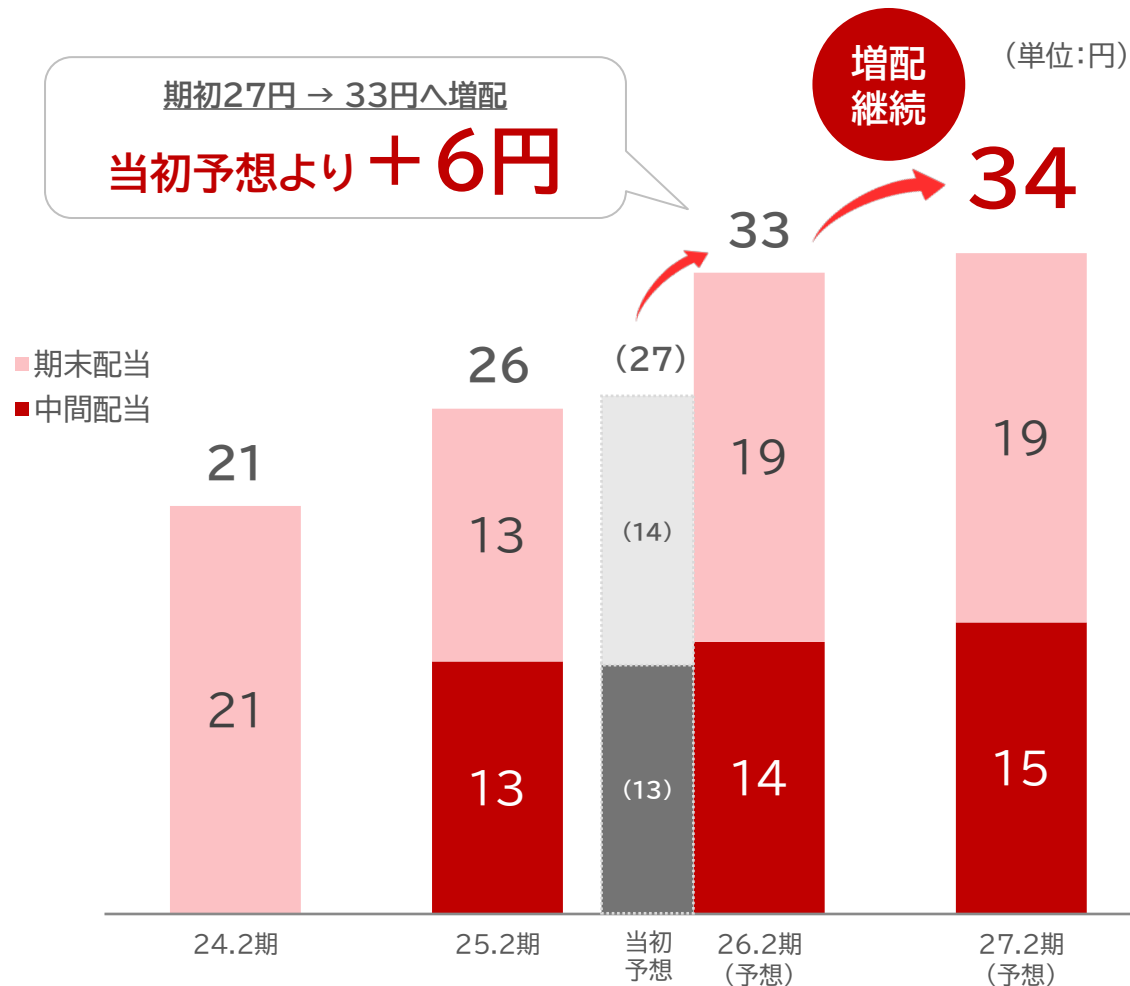
※詳細はP18を参照ください。



# 株主還元

# 1株あたり配当金の推移と見通し

1株あたり配当金の推移と見通し



## 2027年2月期 配当予想

中間15円/株、期末19円/株

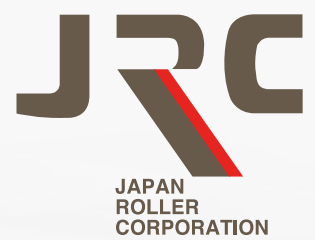
普通配当30円に加え、  
創業65周年記念配当4円を実施予定

年間配当金 **34円/株**

継続的かつ安定した配当を行う基本方針のもと、

**連結配当性向30%**程度を目安に、

配当の実施を目指しております。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に  
見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。